

三芳町 議会だより

第 4 回定例会の主な内容	2
第 3 回臨時会	4
審議結果と議員ごとの賛否内訳	5
ふれあい座談会（議会報告会）・請願・意見書	6
一般質問（14 人が町政を問う）	8
傍聴席から・議員発議	15



キジ夫婦 撮影者：浅見さん（竹間沢在住）



表紙写真 募集します

9/28（金）締切

次回の議会だより 146 号（11 月 1 日発行 発行部数 15,400 部）の表紙写真を募集します。三芳町に関する写真であれば

何でも可。詳しくは三芳町ウェブサイト→三芳町議会でごらんいただくか、議会事務局（役場内）までお問い合わせください。

みなさまのご応募をお待ちしております。

発行：三芳町議会

編集：議会だより編集委員会

〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1100-1

TEL 049-258-0019 FAX 049-274-1057

Mail gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

ホームページ

三芳町議会

検索

<http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/>

平成24年
第4回
定例会
6月1日～12日

平成24年第4回三芳町議会定例会は、12日間の会期にわた
り開かれました。この定例会では、町長提出の議案7件中、
1件を『継続審査』、1件を『修正可決』とし、その他の報告
3件、議案5件、諮問1件は原案どおり『可決・同意』しま
した。また、請願1件を『採択』しました。

一般質問については、14名の議員が4日間の日程で行
い、町政全般についてさまざまな議論を交わしました。
議員提出の議案については、発議2件を原案どおり
『可決』し、意見書は提出された3件中1件を『可決』、
2件を『否決』しました。

中央公民館の名称の復活 を求める附帯決議が可決

議案第42号

三芳町公民館の設置 及び管理に関する 条例の一部を 改正する条例

提案理由

三芳町立中央公民館が
平成23年度末をもって閉
館したことに伴い、本条
例を改正したく提案する
ものである。



発議第7号

議案第42号に対する附帯決 議案について

中央公民館の設置及び管理に関する条例につい
て、公民館は、教育の権利や社会福祉の増進がうた
われている日本国憲法、社会教育法の下で守られた
公の施設であり、長年にわたって地域住民に親しま
れ利用されてきました。

今回、条例改正に当たり、中央公民館の名称が三
芳町からなくなってしまふことは、利用者に与える
影響が大きく、今後、中央公民館駐車場及びその隣
接地に地域拠点施設として学校給食センターとの併
設施設の、建設の実行と、中央公民館の名称の復活
を強く求めます。

賛成討論

日本共産党

中央公民館は、昭和40年に開館し、多くの町民
に利用され親しまれてきた歴史ある施設です。今
後、給食センターと併設施設として建設される予
定ですが、公民館は教育の権利・社会福祉の増進
など法に守られた次世代へ引き継ぐ施設であり、
中央公民館の名称を復活する附帯決議に賛成。

上富地域拠点施設用 地取得事業を除く 補正予算が可決

議案第44号

平成24年度三芳町一般会計補正予算 (第1号)

一般会計予算の総額に歳入歳出それぞれ2億1887万9千
円を追加する原案に対して、歳入では繰入金削減、歳出では
上富地域拠点施設用地取得と関連工事費の2201万6千円を
削除し、歳入歳出それぞれ1億9686万3千円を追加する修
正案が可決され、歳入歳出予算総額は118億6045万9千
円となりました。

補正予算歳出の主なもの

- ①民生費 民間保育所支援事業として施設整備補助金 1億4146万8千円
- ②教育費 中央公民館解体工事 990万円
- ③公債費 平成23年度学校施設環境改善交付金の増に伴う町債の繰上償還分 4260万円

修正可決に至った経緯

3月定例会において、平成24年度一般会計予算に上富地域拠点施設用地取
得事業が債務負担行為として設定されました。平成24年度から平成25年度ま
での間に用地取得を行うという内容で、審議の過程で執行側から説明のあつ
た土地購入の必要性は次のとおりでした。

議案第39号

三芳町コンプライアンス条例

提案理由・審議過程

継続審査

町のコンプライアンス体制に関し必要な事項を定め、町民に信頼される町
政を確立するために本条例を制定したく提案するものである。
質疑内容が多岐にわたるため、総務常任委員会に付託され詳細な説明と質
疑を行うこととなった。

6月1日・11日に総務常任委員会を開催し、執行側からの説明、質疑を行っ
たが、今後さらに検討が必要との結論に達し、閉会後の継続審査となった。

◆◆◆ 平成 24 年 第 3 回臨時会 審議結果 ◆◆◆

Table with 13 columns: 議案等番号, 議案等名称, 議員名 (結果), 三芳みらい (抜井, 井田, 菊地, 山口, 秋坂), 日本共産党 (増田, 吉村, 杉本), 公明党 (小松, 岩城, 内藤), 三芳維新の会 (石田, 細田, 久保), 山田. Rows include 承認第1号, 承認第2号, 承認第3号, 議案第37号, 議案第38号.

◆◆◆ 平成 24 年 第 4 回定例会 審議結果 ◆◆◆

Table with 13 columns: 議案等番号, 議案等名称, 議員名 (結果), 三芳みらい (抜井, 井田, 菊地, 山口, 秋坂), 日本共産党 (増田, 吉村, 杉本), 公明党 (小松, 岩城, 内藤), 三芳維新の会 (石田, 細田, 久保), 山田. Rows include 議案第6号, 報告第1号, 報告第2号, 報告第3号, 議案第39号, 議案第40号, 議案第41号, 議案第42号, 議案第43号, 議案第44号, 議案第45号, 請願第2号, 意見書第6号, 意見書第7号, 意見書第8号.

…可決・同意・承認 …その他

平成 24 年 第 3 回臨時会

平成 24 年第 3 回三芳町議会臨時会は、5 月 14 日に招集され、会期 1 日間の日程で行われました。



就任あいさつ



三芳町議会議長 山田 政弘



三芳町議会副議長 内藤 美佐子

ポイント① 議長及び副議長の選出が行われました。

一言ごあいさつを申し上げます。このたびは不肖私、議員の皆様方のご推挙によりまして、三芳町議会議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄でございます。

ここに皆様のご推薦を受け、一身を挺してそのご厚志にお報いする覚悟であります。なお、議会の運営につきましましては、不党・公平無私の立場を堅持いたしたいと考えております。なにとぞ皆様方の手厚いご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。あいさつにかえさせていただきます。

☆委員会構成の変更がありました 《厚生文教常任委員会》 委員長 吉村 美津子

反対討論 日本共産党

承認第1号 専決処分の承認を求めることについて (三芳町税条例の一部を改正する条例)

今年度は、固定資産税の評価替えの年だ。住宅用地の固定資産税の評価額については、そもそも1992年の通達で公示価格の2～3割から7割水準まで引き上げられ、激変緩和のための負担調整措置が設けられたが、地価が下がり続けても税負担は増えるという矛盾が生じている。住民への負担軽減とならない。

ポイント② 今回上程された町長提出の議案2件、承認3件は原案どおり『可決・承認』されました。

- 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて (三芳町税条例の一部を改正する条例) 原案承認
承認第2号 専決処分の承認を求めることについて (三芳町都市計画税条例の一部を改正する条例) 原案承認
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて (三芳町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) 原案承認
議案第37号 唐沢小学校屋内運動場耐震補強工事(建築・機械設備) 請負契約の締結について 原案可決
議案第38号 三芳中学校校舎耐震改修補強工事(建築) 請負契約の締結について 原案可決

問 環境産業課は、なぜ環境課と観光産業課に分かれたのか。観光産業課は何をするのか。

答 未来創造みよし塾で、観光に関してワーキンググループを作って検討してきた。三芳町にも多くの観光資源があり、これをPRすることによって、三芳町版の観光ということでこれから形づけていく。

問 放射線測定器の購入はどうなっているのか。

答 要望があり議会で採択した。それを受けて担当課でも調査している。問題は、機器の選定と購入後の運用である。放射線対策検討委員会の中で、除染の問題、測定器の問題も検討していくことになっている。

問 竹間沢小学校周辺の歩道の整備をお願いしてきた。できている箇所と進んでいない箇所があるが、どう考えているのか。

答 議会としても歩道の整備は考えていきたい。議会の一般質問等の中で、執行部側に訴えていきたいと思う。



ふれあい座談会 議会報告会

三芳町議会は、4月21日、22日、農業センター（23人）、総合体育館（7人）、藤久保公民館（36人）、竹間沢公民館（16人）で3月定例議会報告会を行いました。一般会計予算（歳入・歳出・債務負担行為）、特別会計予算、請願、意見書等の報告、質疑応答及び意見交換を行いました。



参加者からの質問

問 債務負担行為、上富地域拠点施設用地取得事業の2700万円の購入について

答 農業センター脇の土地約100坪を、当面、観光バスの駐車場として確保するとの案だが、計画性に乏しく安全面で問題があるとして、議会からは、①価格の交渉が必要 ②大型バスの駐車はしない ③将来ビジョンを明確にする、などの附帯決議をつけた。

問 給食センターと公民館の建て替えは急を要するが、借金をしないで済む方法はないのか。

答 町債で10億円以上捻出しなければならない。将来にわたり使用していく施設は、これから利用する年代に等しく負担してもらうという考え方。

問 めくもり健康入浴券が、半分になったのはなぜか。

答 対象者が増えたことに要因がある。議会からも、見直しを要求する意見が多かった。

問 12月で、公民館の減免規定の改正をしないで中央公民館の存続の請願が可決しているのに、町政から動きが見えないのはなぜか。

答 この問題では、議員は一般質問を行っている。町長は、「尊重する。中央公民館は廃止するとは決まっていない。」と答弁している。

参加者からの意見

- ・なんでも削減すればいいというものではない。川越街道の歩道、衣料品店前はとても危険。交通量も多く危ないので整備すべきだ。
- ・農業センター北西側の土地購入（104坪）は、必要性が感じられない。
- ・プロジェクトチームの一員だが、町外部のアドバイザー等謝礼よりも町民の意見交換等で政策反映をすべきでは。
- ・資料の事前配付は必要だと思う。
- ・質疑応答の時間が短い。
- ・砂塵対策を考えてほしい。昔は麦を作っていた。
- ・公共施設にパソコンを置くなど、高齢者への支援を。



第4回 定例会

請願

この請願は建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちにとり、アスベスト問題の早期解決を国に働きかける意見書の提出を求めるものです。

審議内容

現在建設業に従事していたアスベスト被害者たちが、全国6つの地方裁判所に、国とアスベスト建材製造企業に補償とアスベスト対策の抜本改正を求めて裁判を起している事もあり、審議の中で、一部内容を訂正した方が良いのではないか、との意見もありました。

審議結果

本会議で採決を行ったところ賛成多数で「採択」と決定しました。



意見書

再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

太陽光発電などの再生可能エネルギーの固定価格買取制度が7月よりスタートし、政府はこの3年間で集中的に利用拡大を図るとしているが、再生可能エネルギーの導入促進と実効性ある買取制度に向け、十分な環境整備を図るよう強く求めるために提案する。

提出先 内閣総理大臣
経済産業大臣

任命

人権擁護委員に 山崎百恵氏を推薦

人権擁護委員の任期満了に伴い、議会の意見を求められましたので、適任と認め答申をいたしました。

